学生募集要項

2023 年度

東京基督教大学
TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY

問い合わせ先

TCU 受験生向け LINE@

@tcu_jp

東京基督教大学　教務部教務課 入試担当
Web サイト：https://www.tci.ac.jp/
住所：270-1347 千葉県印西市内野 3-301-5
電話：0476-46-1131
Fax：0476-46-1405
Email：nyushika@tci.ac.jp
対応時間：9:00～16:45（月曜日～金曜日）
※昼休み 11:50～12:50 を除く

目　　次

	ページ
問い合わせ先	
信仰基準	2
建学の精神、神学部総合神学科、教育目標	3
アドミッション・ポリシー	4
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー	5
入試概要	
募集人員、入試日程	7
試験スケジュール、入学検定料、不正行為	8
再受験、合格発表、補欠者、入学手続・辞退手続、障がいのある方へ、その他	9
日本語能力について	11
個別入学資格審査	12
入学者選抜要項	
出願資格（各選抜共通）	13
総合型選抜	14
総合型選抜（オンライン）	16
学校推薦型選抜（公募制）	18
学校推薦型選抜（指定校制）	19
一般選抜	20
入学者選抜出願書類一覧	22
編入学者選抜要項	
教会教職専攻3年次編入（総合型方式、総合型オンライン方式、一般方式）	24
2年次・3年次編入［教会教職専攻3年次編入を除く］（総合型方式、総合型オンライン方式、一般方式）	28
編入学者選抜出願書類一覧	32
全寮制、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項	33
学生納付金	34
奨学金制度	35
提携教育ローンのご案内	36
出願書類【様式1～様式15】	
（巻末とじ込み）	
大封筒（出願書類送付用）	
小封筒（本学からの受験票等送付用）	
本学からの送付封筒用宛名カード2枚（小封筒の中）	

信 仰 基 準

東京基督教大学が基準とする信仰は、旧・新両約聖書に一貫して啓示され、古代公同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを目指す福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の9箇条に述べるとおりです。

1．66巻からなる聖書は、聖霊の完全な霊感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。したがって、聖書の記述には、誤りがありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとされたすべてのことを含み信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。

2．生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であられます。

3．神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。

4．人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。

5．わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であられます。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。

6．主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで主を信じる者はみな罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。

7．聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活を送る力を与えてキリストのかたちに似る者としてくださいます。

8．教会はそのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従ってすべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。

9．わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれの肉体をもってよみがえらされ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たにして、み国を父なる神におわたしになります。

建学の精神

プロテスタント福音主義信仰に立ち、教派を超えて 21 世紀の教会と社会に奉仕する世界宣教の働き人を育成するために、実践的な神学教育を施す。

1．福音主義
聖書を誤りのない神のことばと信じ、かつ信仰と生活の唯一の規範とする福音主義に立って、正統的な神学に基礎づけられた教職者および奉仕者を育成する。
2．超教派
超教派の神学教育に実績を持つ東京キリスト教学園にあって、教派を超えて日本の内外の諸教会と社会に奉仕し、その発展に寄与できる人材を育成する。
3．実践的神学教育
福音主義諸教会や諸団体の期待と要望に応えるために、実践的神学を深め、教会と社会に仕える姿勢、行動力や指導力を養い、福音を肌で感じさせる人材を育成する。
4．世界宣教
宣教の主イエス・キリストの大命令に応えて、世界各国とりわけアジア諸国に、キリストのからだである教会を建て上げる働き人として、宣教師や奉仕者を送り出す。

神学部総合神学科

東京基督教大学は１学部（神学部）１学科（総合神学科）で編成されています。１年次に入学、２年次に編入学した者は、3年次進級時に以下の5専攻から主専攻を選択します。３年次編入生は受験時に専攻を選択しますので、「教会教職専攻」と「それ以外の専攻」で入試区分が異なります。

教会教職専攻
グローバル・スタディーズ専攻
ユース・スタディーズ専攻
キリスト教福祉専攻
神学教養専攻

教育目標

１・２年次教育
キリスト教リベラルアーツ教育に基づく幅広い教養を身につけ、理論と実践を統合し、共同体での学び合いを通じて、霊性、知性、品性、社会性を育てる。また、基礎的学びを発展させつつ、キャリア形成を意識しながら専攻を選択する。

教会教職専攻
教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野(聖書・組織・歴史・実践)を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。

グローバル・スタディーズ専攻
世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力をもった人を育成する。国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。

ユース・スタディーズ専攻

ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達の過程や課題を理解し、彼らの全人格的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。

キリスト教福祉専攻

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のクリスチャン福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培う。

神学教養専攻

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。

本学の教養教育、寮教育やチャペル礼拝を通したキリスト教人格教育、各専攻による専門教育により、福音的な聖書理解と幅広い神学知識、人と社会に仕える姿勢と教養、神と教会に仕える情熱と知見、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

本学の入学者に求める条件、資質は以下のとおりです。

1. 既に洗礼を受けたか、幼児洗礼の場合は信仰告白をしていること。
2. キリストへの献身[1]を表明し、将来教会と社会に仕えることを志していること。
3. 本学の建学の精神と信仰基準に同意すること。
4. 聖書の基礎知識を有し、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力があること。
5. 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれること。

本学の入学者選抜においては、聖書の基礎知識、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力、自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションをとれる力があるかどうかを審査します。なお、入学者選抜における評価方法及び評価比重については、別途学生募集要項に定めます。

---

[1] 本学が考える「献身」とは、牧師や宣教師のみならず、広くこの世界でキリストに仕える者としての献身を意味します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

1．プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。
2．東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
3．修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
4．クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。
5．神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

東京基督教大学では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を提供し、学修成果をどのように評価するのかを、「カリキュラムポリシー」として以下のように定めています。この「カリキュラムポリシー」を通して、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指します。（文末カッコ内は、東京基督教大学の「ディプロマポリシー：DP」に対応する番号です。）

［1］科目の提供

a. プロテスタント福音主義と超教派の理念に基づき、聖書神学、組織神学、歴史神学、実践神学の伝統的で幅広い神学の学びの機会を提供します。（DP-1,2）
b. 人間と社会を理解するために必要な教養教育科目を提供します。（DP-2,4）
c. クリスチャンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。（DP-4）
d. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスチャンを育成するため、実践神学、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の科目群を設けます。（DP-1,3,4）

［2］科目の編成

a. 学生の主体的な履修を励ますため、基礎学力の向上から専門的知識の修得までを可能にする科目を、科目番号を用いて体系的にわかりやすく配置します。（DP-1,2,3）
b. 学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供し、具体的な進路選択を促します。提供される専攻は以下のとおりです。教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養　（DP-4,5）
c. 科目ごとに授業の目標、内容、教育方法、評価方法等を明記したシラバスを作成して学生に提供します。また「カリキュラムポリシー」を具体化し、可視化して共有するための「カリキュラムマップ」を学生と教職員に提供し、カリキュラムに関する大学全体の共通理解と連携を図ります。（DP-3）
d. 毎学期後に実施される学生による授業評価を用い、より効果的な科目配置や、授業内容の改善を実施します。（DP-3）

［3］学修の方法と評価

a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とし、講義、演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、実技、卒業研究等の多様な学びの機会を提供します。（DP-3,4,5）

b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。（DP-3,4,5）

c. 社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスチャンを育成するため、チャペル礼拝[1] 出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。（DP-4,5）

d. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、学生の自己評価や教員との面談を含む複数の他者評価が総合的に用いられます。（DP-1,2,4,5）

［4］学修(学習)のサポート

a. 担任制を設け、履修相談や進路相談を含めて、細やかに支援します。（DP-3）

b. 上級生と下級生の積極的な交流の機会[2] を設け、学生同士の相互援助を可能にする学習共同体の形成を促します。（DP-4,5）

c. 学習に困難さを抱える学生のために、支援制度を設けます。（DP-3）

d. 学生相談室を設け、心身の課題を含めた学生の多様なニーズに応えます。（DP-4,5）

［5］初年次の教育

a. 初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする科目や、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会を提供します。（DP-1,2,3,5）

b. 初年次には、学生が自らの興味や召命感に基づいて、主体的に、そしてワクワク感を持って学習の計画を立てることができるよう、多様な履修モデルの紹介や、教員、上級生との交流の機会[3] が提供されます。（DP-3,5）

c. 入学前教育の結果等を用いて支援の必要な学生を把握し、入学直後からサポートを開始します。（DP-3）

d. 初年次からキャリア教育を開始し、具体的な将来像の形成を支援します。（DP-4）

「カリキュラムポリシー（CP）」の履行

・学部の科目やその内容に加え、その他の教育的プログラムや学生を対象とした企画等に関する文章には、根拠となる「カリキュラムポリシー」の記号（例：CP-1a、CP-3c）を併記し、本ポリシーの着実な履行を目指します。

・教職員は、本学の「教育の PDCA サイクル」を念頭に、自らの営みを「カリキュラムポリシー」や「ディプロマポリシー」と照らし合わせて常に確認し、必要な改善を継続的に実施します。

---

[1] チャペル礼拝とは、火曜日から金曜日に大学チャペルでもたれる全学生出席の礼拝のことです。

[2, 3] 入学時のオリエンテーションやスプリングリトリート、小グループチャペル等が含まれます。

入 試 概 要

1．募集人員

＜神学部 総合神学科＞

1年次入学

入試区分	定員
総合型選抜	18名
総合型選抜（オンライン）	若干名
学校推薦型選抜（公募制）	5名
学校推薦型選抜（指定校制）	若干名
一般選抜	5名
秋季入学者選抜	5名
計	33名

編入学

入試区分	定員	
	2年次編入	3年次編入
編入学者選抜（総合型方式）	若干名	10名
編入学者選抜（総合型オンライン方式）	若干名	若干名
編入学者選抜（一般方式）	若干名	4名
秋季編入学者選抜	若干名	若干名
計	若干名	14名

2．入試日程

1年次入学

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜 総合型選抜（オンライン）	第1回	9月1日(木)～ 9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金) 必着
総合型選抜 総合型選抜（オンライン）	第2回	10月3日(月)～ 10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金) 必着
学校推薦型選抜(公募制) 学校推薦型選抜(指定校制)		11月1日(火)～ 11月8日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金) 必着
総合型選抜 総合型選抜（オンライン）	第3回	1月5日(木)～ 1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金) 必着
一般選抜		2月13日(月)～ 2月24日(金)必着	3月6日(月)	3月8日(水)	3月20日(月) 必着

※窓口は3月3日(金)正午まで受付

編入学

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
編入学者選抜(総合型方式) 編入学者選抜(総合型オンライン方式)	第1回	9月1日(木)～ 9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金) 必着
編入学者選抜(総合型方式) 編入学者選抜(総合型オンライン方式)	第2回	10月3日(月)～ 10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金) 必着
編入学者選抜(総合型方式) 編入学者選抜(総合型オンライン方式)	第3回	1月5日(木)～ 1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金) 必着
編入学者選抜(一般方式)		2月13日(月)～ 2月24日(金)必着	3月6日(月)	3月8日(水)	3月20日(月) 必着

※窓口は3月3日(金)正午まで受付

秋季入学者選抜・編入学者選抜

秋季入学者選抜・編入学者選抜は全て英語で行われる入試です。

学生募集要項が異なりますので、詳細については教務課入試担当までお問い合わせください。

３．試験スケジュール

本学キャンパスで実施する総合型選抜、一般選抜(編入含む)の試験スケジュールは下記の予定です。正式な入試スケジュールは出願締切後に出願者へ通知します。下記の予定から変更になる場合もありますので、必ず出願後に送付される案内をご確認ください。

＜総合型選抜・編入学者選抜(総合型方式)＞

時間	内容
9:00 ～ 9:15	受付
9:15 ～ 9:20	注意事項説明
9:30 ～ 11:00	小論文
11:10 ～ 12:10	個別面接(一人30分)
12:10 ～ 13:00	昼食
13:00 ～	個別面接(一人30分)

＜一般選抜・編入学者選抜(一般方式)＞

時間	内容
9:00 ～ 9:25	受付
9:25 ～ 9:30	注意事項説明
9:40 ～ 10:20	聖書
10:30 ～ 12:00	小論文
12:00 ～ 13:00	昼食
13:00 ～	個別面接（一人20分）

面接時間について要望がある場合(遠方から来るため午前中に面接希望等)は出願時に教務課入試担当までご相談ください。ご要望に沿えない場合もあります。

※学校推薦型選抜、総合型選抜（オンライン)、編入学者選抜（総合型オンライン方式）は出願締切後、面接時間のスケジュール等をお知らせします。

４．入学検定料

（1）入学検定料35,000円は、出願書類を提出する前に募集要項出願書類の様式1の「振込依頼書」で銀行にて振込み手続きを行ってください（郵便振替等では受け付けません）。振込が確認できない場合は受験を許可しない場合があります。

（2）様式1の「B振込金受領書（志願者保存）」は入学検定料の入金を証明するものなので、大切に保管してください。

（3）いったん納入された入学検定料は原則としてお返ししません。

（4）受験した入試選抜で不合格になり、異なる入試選抜を再受験する場合の入学検定料は20,000円です。ただし、同じ入試種別で再受験することは出来ません。下記「再受験」の説明を読み、該当する場合は、振込用紙を別途送付しますので教務課入試担当までご連絡ください。

※災害救助法適用地域で被災された方へ

申請条件を満たした被災者は入試における入学検定料の免除申請を行うことが出来ます。申請条件及び申請方法等の詳細は本学ウェブサイト（トップページ→受験生のみなさまへ→大規模災害罹災に伴う入学検定料の免除について）をご参照ください。

５．不正行為

次のいずれかに該当する場合、不正行為とみなします。

（1）カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。

（2）試験時間中に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為を行うこと。

（3）試験時間中に使用を許可されているもの以外のものを机の上に置くこと。

（4）試験時間中に携帯電話等の通信機器を身につけていること。

（5）試験時間中に携帯電話、時計等の音（着信音・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。

（6）試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

（7）試験会場において監督者の指示に従わないこと。

（8）志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。

（9）その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

不正行為者には、ただちに試験の中止を命じ、既に受験した試験を無効とし、以後に実施される今年度の入学試験の受験を認めません。また、不正行為があった場合、警察に被害届を出す可能性があります。

６．再受験

同一入試種別での再受験はできません（例：第1回総合型選抜に不合格となり、第3回総合型選抜を受験）。異なる種類の入試であれば再受験可能です（例：第1回総合型選抜に不合格となり、一般選抜を受験）。

７．合格発表

所定の合格発表日に、合格者・不合格者ともに合否結果の通知を発送します。合格発表日から数日経過しても通知が未着の場合は、教務課入試担当までお問い合わせください。なお受験生の便宜を考慮し、補助的な手段として以下の方法で合否の確認ができます。合否に関する電話でのお問い合わせには応じられません。

（1）本学キャンパス内掲示板（中央通路）に、合格発表日の午前10時に合格者の受験番号を掲示します。

（2）本学ウェブサイト（トップページ→受験生のみなさまへ→合格発表2023年度入試結果）に、合格発表日の午前10時に合格者の受験番号を掲載します。

８．補欠者

第3回総合型選抜、第3回総合型選抜（オンライン）において補欠者を出すことがあります。補欠者は合格者ではなく、一般選抜の結果により入学を許可される可能性がある者です。補欠者の発表は第3回総合型選抜、第3回総合型選抜（オンライン）の合格発表時に行い、文書にて通知をお送りします。補欠者の合格発表は、合格者・不合格者ともに一般選抜の合格発表と同時に行います。合格発表日から数日経過しても通知が未着の場合は、教務課入試担当までお問い合わせください。なお、補欠者が入学を許可された場合でも、本学が指定した日までに入学手続を完了しなければ、入学資格を失います。

９．入学手続・辞退手続

合格者は、入学手続締切日までに学生納付金を納入し、所定の書類を提出してください。締切日までに手続きが確認できない場合は、合格を取り消す事があります。やむを得ない事情により入学手続締切日までに学生納付金を納入できない場合は、延納することが可能です。事前に教務課入試担当までご相談ください。

入学手続終了後に本学への入学を辞退する場合、2023年3月31日（金）までに申し出があれば、納付金を返還します。

１０．障がいのある方へ

身体に障がいがあり、特別の配慮を必要とする方は、受験方法等についてなるべく早く教務課入試担当までご相談ください。

１１．その他

（1）ミドル・シニアの方へ

総合神学科では、すべての専攻でミドル・シニア世代（40 歳以上）の学びをサポートします。牧師などの教会教職者として奉仕しようと考えておられる場合は、総合神学科 3 年次編入（教会教職専攻）の可能性があります。教務課入試担当までご相談ください。

（2）英語で学びたい方へ

総合神学科には日本語で学ぶ春季入学／編入学の他に、卒業まで全て英語で学ぶことが可能な秋季入学／編入学があり、入試も全て英語で行います。英語による受験のための学生募集要項は異なりますので、英語で受験を考えておられる方は、下記までお問い合わせください。

（電話：0476-46-1131　メール：admission@tci.ac.jp　日本語/英語対応）

（３）東京基督教大学卒業生の方へ

本学卒業生は学士再入学制度を利用できます。詳細は教務課入試担当までお問い合わせください。

（４）在留資格「留学」について（外国籍の方へ）

日本在住の外国籍の方で、本学合格後に在留資格を「留学」へ資格変更申請する場合、出入国在留管理庁に本学が発行する書類を提出する必要があります。必要な方は出願時または合格時にお問い合わせください。

海外在住の外国籍の方で、本学合格後に在留資格「留学」を申請する方は、まず在留資格認定証明書申請が必要です。本学が代理で入国管理局に申請しますので、出願前にお問い合わせください。

日本語能力について

本学では春季入学・編入学を希望する日本語を母語としない方に、下記のいずれかの日本語能力を出願条件として求めています。

1．日本語能力試験(N1 レベル)合格

日本語能力試験とは、国際交流基金と日本国際教育支援協会が実施している日本語能力をはかる試験です。日本国内及び海外で試験を実施しています。申込方法などの詳細は日本語能力試験公式ウェブサイト（https://www.jlpt.jp/）にてご確認ください。本学には出願時に N1 レベルの「日本語能力試験認定結果及成績に関する証明書」の提出が必要です。

2．日本留学試験「日本語」の「読解、聴解・聴読解」(400 点満点)で 280 点以上かつ「記述」(50 点満点)で 35 点以上の成績を有する

日本留学試験とは、独立行政法人日本学生支援機構が実施している外国人留学生として、日本の大学（学部）等に入学を希望する者について、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施する試験です。日本国内及び海外で試験を実施しています。日本留学試験には「日本語」以外に「理科」「総合科目」「数学」の科目がありますが、本学の出願に必要なのは「日本語」のみです。申込方法などの詳細は日本留学試験ウェブサイト（https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/）にてご確認ください。本学には出願時に「読解、聴解・聴読解」(400 点満点)で 280 点以上かつ「記述」(50 点満点)で 35 点以上の「日本留学試験成績に関する証明書」の提出が必要です。

3．TCU 日本語能力認定試験の合格

TCU 日本語能力認定試験とは、本学で独自に行う日本語能力認定試験で、本学を受験する意思のある者だけが受けられます。随時申し込みを受け付けますが、本学入試の出願前に受験してください。合格した者は本学で学ぶことの出来る日本語能力があると認め、本学の入試に出願することができます。なお、この試験結果は本学の出願資格を満たすかどうかの判定にのみに用いられ、その他の用途には用いることができません。

試験場所は本学キャンパスです。受験料はかかりません。申込みは原則としてこの試験を受けることを希望する日の 10 日前までの受付に限ります。詳細は教務課入試担当までお問い合わせください。

4．その他、本学が認める（1）～（3）と同等以上の日本語能力

日本国内の高等学校や専門学校、短期大学、大学、大学院等の日本語による課程を卒業または卒業見込みの者などは（1）～（3）と同等以上の日本語能力を有すると認めます。該当者は出願時に日本国内の高等学校や専門学校、短期大学、大学、大学院等の日本語による課程の卒業証明書または卒業見込み証明書(高等学校の調査書含む)を提出ください。ただし、それ以外の者でも（1）～（3）と同等以上の日本語能力を有すると証明できる場合は、本学で出願を認める場合があります。審査を希望される場合は必ず出願前に教務課入試担当までご連絡ください。

個 別 入 学 資 格 審 査

チャーチスクールやホームスクール等で学び、「高等学校卒業程度認定試験」に合格していない場合でも出願する方法があります。学校教育法施行規則第 150 条 7 号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者」の規定により、本学では個別入学資格審査を実施しています。

1. 入学資格審査の対象者

a. 高等学校を卒業していない者で、各種の学校における学修歴を有する者や社会における実務経験等を積んだ者で 2023 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者。(2023 年 4 月 1 日に 18 歳の誕生日を迎える者を含む)

b. 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者で 2023 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者。(2023 年 4 月 1 日に 18 歳の誕生日を迎える者を含む)

2. 申請方法

次の必要書類を提出してください。

上記 1 の a. に該当する対象者

(1) 個別入学資格審査申請書（様式 15）

(2) チャーチスクール、ホームスクール等の各学校における学修歴または社会における実務経験等を証明できるもの

上記 1 の b. に該当する対象者

(1) 個別入学資格審査申請書（様式 15）

(2) 申請者の当該外国人学校における履修状況を証明できるもの

(3) 当該外国人学校の卒業証明書又は卒業見込み証明書

3. 申請期間及び申請書類の送付先

(1) 申請期間　随時

※ただし原則として自分が出願を希望している入試の出願開始日 1 ヶ月前までの申請に限る。

(2) 送 付 先　〒270-1347　千葉県印西市内野 3 丁目 301-5-1

東京基督教大学 教務課入試担当

※申請書類は書留扱いとして郵送し、封筒の表面に「個別入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

4. 審査方法

提出された申請書類に基づき書類審査及び面接試験を行います。審査により入学資格を認められた者には、「東京基督教大学個別入学資格認定書」を交付します。

5. 入学者選抜への出願について

「東京基督教大学個別入学資格認定書」を交付された者は、本学が実施する入学者選抜（学校推薦型選抜以外）に出願することができます。

入学者選抜要項

総合型選抜

総合型選抜（オンライン）

学校推薦型選抜（公募制、指定校制）

一般選抜

出願資格【各選抜共通】

受洗後[※1]キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者であり、次のいずれかに該当する者。

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および2023年3月卒業見込みの者。

(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および2023年3月修了見込みの者。

(3)学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および2023年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該教育を修了した者、および2023年3月31日までに修了見込みの者。

③専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および 2023年3月31日までに修了見込みの者。

④文部科学大臣の指定した者。

⑤文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧制度の大学入学資格検定を含む）に合格した者、および2023年3月31日までに合格見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達する者。

⑥本学における個別の入学資格審査により、高等教育を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに18歳に達する者。12ページ参照。

※1 ただし出願時にはやむを得ない事情により受洗できていないが、入学時までに受洗予定がある場合、出願が認められることがあります。ご相談ください。

なお、上記出願資格に加え、日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は11ページ参照。

総 合 型 選 抜

本学の総合型選抜は、書類審査、事前課題(小論文)、入試日当日の筆記試験「小論文」、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」、入試日の小論文では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。入試日当日の小論文は、事前にテーマ群とキーワード群を要項に提示することにより、事前学習の機会を与えています。聖書の口頭試問では聖書の基礎知識を問います。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかどうか審査します。

1．出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を参照ください。

2．選考方法

(1) 書類審査

受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) 筆記試験〔小論文 90分〕

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。試験要領は15ページを参照してください。

(3) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3．入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(木)～9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金)必着
第2回	10月3日(月)～10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着
第3回	1月5日(木)～1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金)必着

4．評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問　新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験（小論文）	問題の把握と論理的展開	30点	
		日本語表現	30点	
		クリスチャンとしての視点	10点	
		独自性	10点	
		結論の明確性	10点	
		字数を満たし十分論じられているか	10点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

＜筆記試験（小論文）要領＞

以下の【テーマ群】の中から入試当日に小論文のテーマを１つ出題します。その際以下の【キーワード群】の中から３つのキーワードを指定し、そのキーワードを用いて論述することを求めます。入試当日までどのテーマとキーワードが出題されるかは分かりません。受験者は入試日までに【テーマ群】や【キーワード群】に示されている語句を調べ、受験に備えてください。なお、受験時の聖書や辞書等の持込みは認められません。

テーマ群	キーワード群
グローバリゼーション	「超教派」　「実践的神学教育」　「世界宣教」 「実践的神学教育」　「教会」　「聖書」　「情報技術」 「富」　「共同体」　「人権」　「多様性」
多文化共生社会	
地球温暖化	
世界の経済格差	

＜学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応＞

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症の感染拡大等により、キャンパスでの入試が実施出来なくなった場合や出願者自身が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の入学検定料なしで別日程入試に振り替えるか、同日程の総合型選抜（オンライン）に切り替えるかのどちらかを選択できます。出願者が感染症に罹患した場合、診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別日程の入試への振り替えや試験の切り替えはできません。

総合型選抜（オンライン）

本学の総合型選抜（オンライン）は、新型コロナウィルス感染拡大等で海外から入国できない場合や出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、キャンパスに来ることができない場合等にオンラインで受験できる選抜です。書類審査、事前課題(小論文)、提示される文章に関する口頭試問、聖書基礎知識に関する口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」、口頭試問では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかどうか審査します。

1．出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を参照ください。

2．選考方法

(1) 書類審査

受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) オンライン口頭試問〔1人15分〕

入試日当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章についてロ頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) オンライン面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3．入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(木)～9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金)必着
第2回	10月3日(月)～10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着
第3回	1月5日(木)～1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金)必着

4．評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	オンラインロ頭試問	旧約聖書5問　新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	提示される文章に関するオンラインロ頭試問	知識・技能	30点	
		思考力・判断力・表現力	70点	
キリストへの献身	オンライン面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

＜オンラインでの受験について＞

試験（口頭試問と面接）は、オンライン会議システムの Zoom を使用して実施します。

（１）事前準備

①インターネット接続環境

・インターネット接続環境と接続機器は必ず自身でご用意ください。

・インターネット接続の安定した静かな場所で受験してください。

② Zoom アプリのダウンロード

・受験で使用するインターネット接続機器（PC、タブレット等）に Zoom アプリをダウンロードしてください。PC の場合は、https://zoom.us/にアクセス、タブレットの場合は Apple Store や Google Play で Zoom と検索しアプリをダウンロードしてください。

③ Zoom 接続テスト

・Zoom 接続テスト日時は出願後メールにてお知らせします。Zoom のビデオで表示される名前は必ず受験者氏名(例：千葉 花子)にしてください。

（２）試験当日

①口頭試問及び面接の時間は、出願後、個別にメールにてお知らせします。10:00～17:00 の間で実施しますので、この時間帯は必ず予定を空けておいてください。

②口頭試問と面接の間は、Zoom のビデオと音声を ON にしてください。

③口頭試問中に何かを参照することは禁止です。

④面接は口頭試問の後、続けて Zoom にて行います。途中休憩はありません。

注意事項（ネットワークの不具合などが起きた場合）

・口頭試問では、回答中の問題は不具合が起きる前までで採点します。また 5 分以内に再接続できなかった場合、その後の口頭試問は全て 0 点となります。

・面接では再接続後、継続して面接を行います。不具合が改善せず、入試日の 17:00 までに再接続できない場合は不具合が起きる前までの面接内容で採点します。

・明らかに大学側の原因でネットワークの不具合が起き、インターネット接続が回復しない場合(大学のネットワークの不具合等)は、電話による口頭試問および面接を行います。

・不可抗力の原因によりネットワークの不具合が起き、入試日の 17:00 までに不具合が解消される見込みがない場合は、状況を確認した上で対応を検討します。

学 校 推 薦 型 選 抜（ 公 募 制 ）

本学の学校推薦型選抜（公募制）は、書類審査、事前課題(小論文)、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。高等学校での学習成果も重視し、高等学校で培った「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を調査書によって評価します。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかどうか審査します。

1．出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を持ち、かつ以下の各号のすべてに該当する者。

(1) 日本の教育制度に基づく高等学校または中等教育学校を2022年3月卒業または2023年3月卒業見込みの者。

(2) 全体の評定平均値が3.5以上の専願者。

(3) 在籍する高等学校長の推薦を受けた者。

2．選考方法

(1) 書類審査

受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3．入試日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月1日(火)～11月8日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着

4．評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問　新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	調査書	知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

＜学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応＞

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症の感染拡大等により、キャンパスでの入試が実施出来なくなった場合や出願者自身が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、オンライン面接に切り替えて実施します。オンライン面接の方法は、総合型選抜（オンライン）の方法に準じます。やむを得ない事情により試験日に受験できない場合は、別日程でオンライン面接を行います。出願者が感染症に罹患した場合、診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、オンライン面接への切り替えはできません。

学校推薦型選抜（指定校制）

本学の学校推薦型選抜（指定校制）は、書類審査、事前課題(小論文)、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。高等学校での学習成果も重視し、高等学校で培った「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を調査書によって評価します。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかどうか審査します。

1．出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を持ち、かつ以下の各号のすべてに該当する者。

(1) ※本学指定校の高等学校または中等教育学校を2022年3月卒業または2023年3月卒業見込みの者。
(2) 全体の評定平均値が3.0以上の専願者。
(3) 在籍する高等学校長の推薦を受けた者。

※ 卒業・卒業見込みの高等学校が本学の指定校かどうかは本学ウェブサイト（トップページ→受験生のみなさまへ→入試案内→学校推薦型選抜（公募制・指定校制））でご確認ください。

2．選考方法

(1) 書類審査

受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3．入試日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月1日(火)～11月8日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着

4．評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問　新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	調査書	知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

＜学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応＞

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症の感染拡大等により、キャンパスでの入試が実施出来なくなった場合や出願者自身が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、オンライン面接に切り替えて実施します。オンライン面接の方法は、総合型選抜（オンライン）の方法に準じます。やむを得ない事情により試験日に受験できない場合は、別日程でオンライン面接を行います。出願者が感染症に罹患した場合、診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、オンライン面接への切り替えはできません。

一 般 選 抜

本学の一般入学者選抜は、筆記試験の成績だけで合否を判定せず、筆記試験と同程度に書類審査と面接試験を重視します。書類審査、面接試験ではアドミッション・ポリシーに適合するかどうか審査し、筆記試験では高等学校までに身につけた基礎学力を審査します。

聖書筆記試験は聖書の基礎知識を問います。小論文筆記試験は高等学校の国語（国語総合（古文・漢文を除く）・現代文 B）の範囲から出題します。

1．出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を参照ください。

2．選考方法

(1)書類審査

受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2)筆記試験〔聖書40分、小論文90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…高等学校の国語（国語総合（古文・漢文を除く）・現代文 B）の範囲から出題し、「知識」、「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3)面接試験〔1人20分〕

事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3．入試日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
2月13日(月)～2月24日(金)必着	3月6日(月)	3月8日(水)	3月20日(月)必着

※郵送での出願は2月24日(金)必着ですが、本学へ持参する場合は3月3日(金)正午まで受け付けます。（土曜・日曜・祝日は持参不可）

2月27日(月)～3月3日(金)正午の間に窓口提出する方は、2月24日(金)16:45までに教務課入試担当に事前連絡してください。

4．評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	筆記試験（聖書）	旧約聖書、新約聖書の基礎知識	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験（小論文）	漢字（知識）	10点	
		文章理解、論述（思考力・判断力・表現力）	90点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

＜学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応＞

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症の感染拡大等により、キャンパスでの入試が実施出来なくなった場合や出願者自身が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追試験を実施します。追試験日程などの詳細は出願者に個別に連絡します。出願者が感染症に罹患した場合、診断書の提出は求めませんが、試験日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、追試験の受験はできません。

入学者選抜出願書類一覧

Check	提　出　物	提出	注　　意	様式
	受験票、入学志願票	○	志願票に写真貼付。	1
	履歴書	○	写真貼付。 ※40歳以上の者は通学か入寮のどちらかを選択すること。	2
	自己紹介書	○	裏面の「志願理由と入学後の学びの目標」は本人自筆で800字以内。	3
	所属教会牧師等推薦書	○	推薦者は所属教会の牧師あるいは役員等指導的立場にある者。密封すること。英文可。	4
	キリスト者推薦書	○	推薦者は客観的に志願者を評価できるキリスト者。ただし所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く。密封すること。英文可。	5
	救いと献身の証し	○	ワープロソフト等で、1,200字以上～2,000字以下で作成し印刷し提出すること。手書きの場合は、400字詰め原稿用紙3枚以上～5枚以下で書き提出すること。	自身で用意
	事前課題（小論文）	○	様式6に記載されている事前課題小論文(全受験生共通)をワープロソフト等で作成・印刷し、様式6を表紙としてクリップ留めで提出すること。様式6に氏名、文字数を必ず明記すること。	6
	調査書または成績証明書等	○	高等学校調査書あるいは高等学校卒業程度認定試験合格者は『合格成績証明書』。どちらもない方は出願前に個別入学資格審査(12ページ参照)を本学まで申請してください。 ※1 チャーチスクール・ホームスクール卒業見込み者/卒業者は上記に加えて在学期間に履修した科目等の内容、成績などがわかる書類を提出すること。 ※2 外国の高等学校を卒業(見込み）の者は『卒業（見込み）証明書』、『成績証明書』を提出すること。 ※3 調査書について保存期間終了等の理由で発行されない場合は、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出すること。	自身で用意
	健康診断証明書	○	保健所、病院等で受けること。現在通院中の者は担当医の診断書も提出すること。 本学は全寮制のため出願時に健康診断書の提出を求めていますが、合否には無関係です。	7
	宛名カード2枚	○	住所、氏名を正確に記入すること。	巻末 小封筒内
	受験票送付用小封筒	○	404円分の切手を貼り、住所･氏名を明記。	巻末
	顔写真2枚	○	写真サイズは縦4cm×横3cm。写真の裏に氏名とフリガナを記入すること。 ※入学志願票や履歴書に貼付する顔写真とは別に2枚必要です。 ※学生証及び顔写真名簿(教職員用)に使用します。	自身で用意
	学校長推薦入学推薦書	該当者	**学校推薦型選抜受験者のみ提出。** 本学所定様式を使用し、密封すること。	8
	健康状況票兼配慮の申請書	該当者	身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がい含む）その他心身の機能の障がい、いずれかの障がいをお持ちの方は提出してください。	9
	特別通学許可願い	希望者	本学では入寮が原則だが、特別な理由がある場合通学が認められる。39歳以下で通学を希望する者は要提出。　※40歳以上の者で通学希望者は提出不要。通学か入寮のどちらかを履歴書（様式2）で選択すること。	10
	同窓生家族特別奨学金申請書・誓約書	該当者	35ページ「奨学金制度」参照。	11
	教会教職者子女特別奨学金申請書・誓約書	該当者	35ページ「奨学金制度」参照	12
	ＯＤＡ（政府開発援助）被援助国出身学生対象奨学金・ノア奨学金申請書・誓約書	該当者	35ページ「奨学金制度」参照。11月末までに実施される入学者選抜または編入学者選抜への出願者のみ申請可能。	14
	在留カード及びパスポートのコピー	外国籍者	在留カードの両面のコピー。 パスポートは氏名の記載されたページのコピー。	自身で用意
	日本語能力を証明する証明書	該当者	日本語が母語でない者は要提出。 詳細は11ページ「日本語能力について」参照。	自身で用意

①出願書類は必ず黒のボールペンで記入すること。

②上記の出願書類は巻末の大封筒(出願書類送付用)を使用し**簡易書留**で郵送または本学入試窓口へ持参すること。

③身体に障がいがあり、受験及び就学上特別の配慮を必要とする者は、必ず出願書類提出の前に教務課入試担当に問合せて下さい。
　また出願時には、健康状況票兼配慮の申請書(様式9)を提出すること。

個人情報の取り扱い

　出願書類等に記載された個人情報は、選抜の実施、合否発表、入学手続き、奨学金業務、統計・分析、入学後教育指導上必要とされる範囲、またこれらに付随する事項を行うために適正な範囲で利用し、以上の目的以外には利用しません。

編入学者選抜要項

編入学者選抜

（総合型方式・総合型オンライン方式・一般方式）

〇3 年次編入　教会教職専攻

〇3 年次編入　教会教職専攻以外

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

〇2 年次編入

編 入 学 者 選 抜　（３年次編入 教会教職専攻 ）

対象：3年次編入 教会教職専攻志望者

本専攻では、明確な召命感を持ち、福音主義に立つ正統的な神学・敬虔な生活・深い人間理解・伝道と牧会の情熱と実践力を身につけ、国際的な視野を持って教会と地域に仕える教会教職者を養成します。本専攻の編入志望者には、4 年制大学卒業程度の論理的思考能力を求めます。総合型方式および一般方式の選抜を通して、聖書の基礎知識、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」やアドミッション・ポリシーに適合するかどうかを審査します。

1．出願資格

召命を受け、教会の承認を得、牧師・宣教師・伝道者・教会教育従事者・神学教師などを目指す者で、受洗後、または、幼児洗礼の場合は信仰告白後 1 年を経た者で、次のいずれかの資格を満たす者。

(1) 学士の学位を有する者及び2023年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
(2) 大学の2年次を修了し、約60単位を目安に修得した者及び2023年3月までに修得見込みの者。
(3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。
(4) 修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校専門課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者。
(5) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者。

※ 日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は 11 ページ参照。

2．選考方法

（総合型方式）

(1) 書類審査
受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) 筆記試験〔小論文 90分〕
「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。試験要領は26ページを参照してください。

(3) 面接試験〔1人30分〕
聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

（総合型オンライン方式）

※総合型方式は原則としてキャンパスで受験しますが、新型コロナウィルス感染拡大等で海外から入国できない場合や出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、キャンパスに来ることができない場合等にオンライン方式での受験が可能です。

(1) 書類審査
受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) オンラインロ頭試問〔1人15分〕
入試当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章についてロ頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) オンライン面接試験〔1人30分〕
聖書基礎知識のロ頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

（一般方式）

（1）書類審査

受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

（2）筆記試験〔聖書40分、小論文 90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…教会教職志望者にふさわしいテーマで出題します。「思考力・判断力・表現力」を審査します。

（3）面接試験〔1人20分〕

事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3．入試日程

（総合型方式）

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(木)～9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金)必着
第2回	10月3日(月)～10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着
第3回	1月5日(木)～1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金)必着

（総合型オンライン方式）

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(木)～9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金)必着
第2回	10月3日(月)～10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着
第3回	1月5日(木)～1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金)必着

（一般方式）

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
2月13日(月)～2月24日(金)必着	3月6日(月)	3月8日(水)	3月20日(月)必着

※郵送での出願は2月24日(金)必着ですが、本学へ持参する場合は3月3日(金)正午まで受け付けます。（土曜・日曜・祝日は持参不可）

2月27日(月)～3月3日(金)正午の間に窓口提出する方は、2月24日(金)16:45までに教務課入試担当に事前連絡してください。

4．評価方法・評価比重

（総合型方式）14ページ「4．評価方法・評価比重」参照。

（総合型オンライン方式）16ページ「4．評価方法・評価比重」参照。

（一般方式）一般方式の評価方法・評価比重は下記の通りです。

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	筆記試験（聖書）	旧約聖書、新約聖書の基礎知識	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

○次ページへ続く。

＜総合型方式の筆記試験（小論文）要領＞

以下の【テーマ群】の中から入試当日に小論文のテーマを１つ出題します。その際、以下の【キーワード群】の中から３つのキーワードを指定し、そのキーワードを用いて論述することを求めます。入試当日までどのテーマとキーワードが出題されるかは分かりません。受験生は入試日までに【テーマ群】や【キーワード群】に示されている語句を調べ、入試に備えてください。なお、受験時に聖書や辞書等の持込みは認められません。

テーマ群	キーワード群
教会と戦争	「グローバル化」　「御言葉の説教」　「洗礼と聖餐」
教会形成と教会教職者	「ウクライナ問題」　「教会と政治」　「貧困の問題」
教会の社会貢献	「地の塩、世の光」　「地域社会の必要」　「終わりの時代」
21世紀の宣教方策	「少子高齢化」　「インターネット配信」　「伝道と教育」

＜オンラインでの受験について＞

試験（口頭試問と面接）は、オンライン会議システムの Zoom を使用して実施します。

（１）事前準備

①インターネット接続環境

・インターネット接続環境と接続機器は必ず自身でご用意ください。

・インターネット接続の安定した静かな場所で受験してください。

② Zoom アプリのダウンロード

・受験で使用するインターネット接続機器（PC、タブレット等）に Zoom アプリをダウンロードしてください。PC の場合は、https://zoom.us/にアクセス、タブレットの場合は Apple Store や Google Play で Zoom と検索しアプリをダウンロードしてください。

③ Zoom 接続テスト

・Zoom 接続テスト日時は出願後メールにてお知らせします。Zoom のビデオで表示される名前は必ず受験者氏名(例：千葉 花子)にしてください。

（２）試験当日

①口頭試問及び面接の時間は、出願後、個別にメールにてお知らせします。10:00～17:00 の間で実施しますので、この時間帯は必ず予定を空けておいてください。

②口頭試問と面接の間は、Zoom のビデオと音声を ON にしてください。

③口頭試問中に何かを参照することは禁止です。

④面接は口頭試問の後、続けて Zoom にて行います。途中休憩はありません。

注意事項（ネットワークの不具合などが起きた場合）

・口頭試問では、回答中の問題は不具合が起きる前までで採点します。また５分以内に再接続できなかった場合、その後の口頭試問は全て０点となります。

・面接では再接続後、継続して面接を行います。不具合が改善せず、入試日の 17:00 までに再接続できない場合は不具合が起きる前までの面接内容で採点します。

・明らかに大学側の原因でネットワークの不具合が起き、インターネット接続が回復しない場合(大学のネットワークの不具合等)は、電話による口頭試問および面接を行います。

・不可抗力の原因によりネットワークの不具合が起き、入試日の 17:00 までに不具合が解消される見込みがない場合は、状況を確認した上で対応を検討します。

＜学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応＞

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症の感染拡大等により、キャンパスでの入試が実施出来なくなった場合や出願者自身が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、総合型方式受験者は、追加の入学検定料なしで別日程入試に振り替えるか、同日程の総合型オンライン方式に切り替えるかのどちらかを選択できます。一般方式受験者は、追試験を実施します。追試験日程などの詳細は出願者に個別に連絡します。出願者が感染症に罹患した場合、診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別日程の入試への振り替え、オンライン試験への切り替え、追試験の受験はできません。

編 入 学 者 選 抜　（２年次および３年次［教会教職専攻を除く］）

対象：2年次編入志望者

3年次編入志望者(グローバル・スタディーズ専攻、ユース・スタディーズ専攻、キリスト教福祉専攻、神学教養専攻)

編入志望者（教会教職専攻３年次編入志望者を除く）には、本学１年次入学者と同等の学力を求めます。総合型方式および一般方式の選抜を通して、聖書の基礎知識、「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」および本学アドミッション・ポリシーに適合するかどうかを審査します。

1．出願資格

受洗後キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者であり、次のいずれかの資格を満たす者。

(1) 学士の学位を有する者及び2023年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
(2) 大学の1年次を修了し、約30単位を目安に修得した者及び2023年3月までに修得見込みの者。
(3) 大学の2年次を修了し、約60単位を目安に修得した者及び2023年3月までに修得見込みの者。
(4) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。
(5) 修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校専門課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者。
(6) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者。
(7) 高等学校等の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者。

※ 日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は11ページ参照。

＜単位認定と編入年次について＞

他大学等で修得した単位が本学でどれだけ単位認定されるかによって編入年次が決まります。編入年次は合格発表時に通知します。出願前に編入可能年次を確認したい場合は教務課入試担当までご連絡の上、成績証明書をお送りください。

2．選考方法

（総合型方式）

（1）書類審査
受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

（2）筆記試験〔小論文 90分〕
「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。試験要領は30ページを参照してください。

（3）面接試験〔1人30分〕
聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

（総合型オンライン方式）

※総合型方式は原則としてキャンパスで受験しますが、新型コロナウィルス感染拡大等で海外から入国できない場合や出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、キャンパスに来ることができない場合等にオンライン方式での受験が可能です。

（1）書類審査
受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・

表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) オンライン口頭試問〔1人15分〕

入試当日にオンライン上で提示される短い文章を朗読した上で、提示した文章について口頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) オンライン面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

（一般方式）

(1) 書類審査

受験資格の有無等を審査します。また出願書類と共に提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は出願書類様式6を参照ください。

(2) 筆記試験〔聖書40分、小論文 90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…高等学校の国語（国語総合（古文・漢文を除く）・現代文B）を土台にした問題を出題します。「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) 面接試験〔1人20分〕

事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3．入試日程

（総合型方式）

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(木)～9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金)必着
第2回	10月3日(月)～10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着
第3回	1月5日(木)～1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金)必着

（総合型オンライン方式）

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(木)～9月16日(金)必着	10月22日(土)	11月1日(火)	11月18日(金)必着
第2回	10月3日(月)～10月18日(火)必着	11月22日(火)	12月1日(木)	12月16日(金)必着
第3回	1月5日(木)～1月16日(月)必着	2月4日(土)	2月9日(木)	2月24日(金)必着

（一般方式）

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
2月13日(月)～2月24日(金)必着	3月6日(月)	3月8日(水)	3月20日(月)必着

※郵送での出願は2月24日(金)必着ですが、本学へ持参する場合は3月3日(金)正午まで受け付けます。（土曜・日曜・祝日は持参不可）

2月27日(月)～3月3日(金)正午の間に窓口提出する方は、2月24日(金)16:45までに教務課入試担当に事前連絡してください。

4．評価方法・評価比重

（総合型方式）14ページ「4．評価方法・評価比重」参照。
（総合型オンライン方式）16ページ「4．評価方法・評価比重」参照。
（一般方式）20ページ「4．評価方法・評価比重」参照。

〇次ページへ続く。

＜総合型方式の筆記試験（小論文）要領＞

以下の【テーマ群】の中から入試当日に小論文のテーマを１つ出題します。その際以下の【キーワード群】の中から３つのキーワードを指定し、そのキーワードを用いて論述することを求めます。入試当日までどのテーマとキーワードが出題されるかは分かりません。受験生は入試日までに【テーマ群】や【キーワード群】に示されている語句を調べ、入試に備えてください。なお、受験時の聖書や辞書等の持込みは認められません。

テーマ群	キーワード群
グローバリゼーション	「超教派」　「実践的神学教育」　「世界宣教」 「実践的神学教育」　「教会」　「聖書」　「情報技術」 「富」　「共同体」　「人権」　「多様性」
多文化共生社会	
地球温暖化	
世界の経済格差	

＜オンラインでの受験について＞

試験（口頭試問と面接）は、オンライン会議システムの Zoom を使用して実施します。

（１）事前準備

①インターネット接続環境

・インターネット接続環境と接続機器は必ず自身でご用意ください。

・インターネット接続の安定した静かな場所で受験してください。

② Zoom アプリのダウンロード

・受験で使用するインターネット接続機器（PC、タブレット等）に Zoom アプリをダウンロードしてください。PC の場合は、https://zoom.us/にアクセス、タブレットの場合は Apple Store や Google Play で Zoom と検索しアプリをダウンロードしてください。

③ Zoom 接続テスト

・Zoom 接続テスト日時は出願後メールにてお知らせします。Zoom のビデオで表示される名前は必ず受験者氏名(例：千葉 花子)にしてください。

（２）試験当日

①口頭試問及び面接の時間は、出願後、個別にメールにてお知らせします。10:00～17:00 の間で実施しますので、この時間帯は必ず予定を空けておいてください。

②口頭試問と面接の間は、Zoom のビデオと音声を ON にしてください。

③口頭試問中に何かを参照することは禁止です。

④面接は口頭試問の後、続けて Zoom にて行います。途中休憩はありません。

注意事項（ネットワークの不具合などが起きた場合）

・口頭試問では、回答中の問題は不具合が起きる前までで採点します。また５分以内に再接続できなかった場合、その後の口頭試問は全て０点となります。

・面接では再接続後、継続して面接を行います。不具合が改善せず、入試日の 17:00 までに再接続できない場合は不具合が起きる前までの面接内容で採点します。

・明らかに大学側の原因でネットワークの不具合が起き、インターネット接続が回復しない場合(大学のネットワークの不具合等)は、電話による口頭試問および面接を行います。

・不可抗力の原因によりネットワークの不具合が起き、入試日の 17:00 までに不具合が解消される見込みがない場合は、状況を確認した上で対応を検討します。

＜学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応＞

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症の感染拡大等により、キャンパスでの入試が実施出来なくなった場合や出願者自身が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、総合型方式受験者は、追加の入学検定料なしで別日程入試に振り替えるか、同日程の総合型オンライン方式に切り替えるかのどちらかを選択できます。一般方式受験者は、追試験を実施します。追試験日程などの詳細は出願者に個別に連絡します。出願者が感染症に罹患した場合、診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別日程の入試への振り替え、オンライン試験への切り替え、追試験の受験はできません。

編入学者選抜出願書類一覧

Check	提　出　物	提出	注　　意	様式
	受験票、入学志願票	○	志願票に写真貼付。	1
	履歴書	○	写真貼付。 ※40歳以上の者は通学か入寮のどちらかを選択すること。	2
	自己紹介書	○	裏面の「志願理由と入学後の学びの目標」は本人自筆で800字以内。	3
	所属教会牧師等推薦書	○	推薦者は所属教会の牧師あるいは役員等指導的立場にある者。密封すること。英文可。	4
	キリスト者推薦書	○	推薦者は客観的に志願者を評価できるキリスト者。ただし所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く。密封すること。英文可。	5
	救いと献身の証し	○	ワープロソフト等で、1,200字以上～2,000字以下で作成し印刷し提出すること。手書きの場合は、400字詰め原稿用紙3枚以上～5枚以下で書き提出すること。	自身で用意
	事前課題（小論文）	○	様式6に記載されている事前課題小論文(全受験生共通)をワープロソフト等で作成・印刷し、様式6を表紙としてクリップ留めで提出すること。様式6に氏名、文字数を必ず明記すること。	6
	成績証明書・卒業証明書等	○	(1)短大・高専・大学卒(見込み)者：①卒業(見込み)証明書　②成績証明書 (2)専修学校卒(見込み)者：①卒業(見込み)証明書　②成績証明書　③卒業(見込み)の専修学校が大学編入学資格を満たす学校であることの証明書、または専門士資格取得証明書（卒業証明書にそれらが明記されている場合、卒業証明書で代替可）④シラバス等の講義内容、単位数が記載されたもの（写し可） (3)高等学校等の専攻科修了(見込み)者：①修了(見込み)証明書　②成績証明書　③修了(見込み)の高等学校等の専攻科が大学編入学資格を満たす学校であることの証明書（修了証明書にそれらが明記されている場合、修了証明書で代替可）④シラバス等の講義内容、単位数が記載されたもの（写し可） ＊外国の課程を修了した者は、上記の書類に準ずるもの(和文または英文)を提出する。 ＊高等学校調査書の提出を求める場合がある。 ＊大学院在学者、修了者(見込み者)の場合でも、大学院のものではなく大学(学部)の成績証明書と卒業証明書を提出すること。	自身で用意
	健康診断証明書	○	保健所、病院等で受けること。現在通院中の者は担当医の診断書も提出すること。 本学は全寮制のため出願時に健康診断書の提出を求めていますが、合否には無関係です。	7
	宛名カード2枚	○	住所、氏名を正確に記入すること。	巻末小封筒内
	受験票送付用小封筒	○	404円分の切手を貼り、住所･氏名を明記。	巻末
	顔写真2枚	○	写真サイズは縦4cm×横3cm。写真の裏に氏名とフリガナを記入すること。 ※入学志願票や履歴書に貼付する顔写真とは別に2枚必要です。 ※学生証及び顔写真名簿(教職員用)に使用します。	自身で用意
	健康状況票兼配慮の申請書	該当者	身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がい含む）その他心身の機能の障がい、いずれかの障がいをお持ちの方は提出してください。	9
	特別通学許可願い	希望者	本学では入寮が原則だが、特別な理由がある場合通学が認められる。39歳以下で通学を希望する者は要提出。　※40歳以上の者は本申請不要。通学か入寮のどちらかを選択可能(履歴書［様式2］に記入すること)。	10
	同窓生家族特別奨学金申請書・誓約書	該当者	35ページ「奨学金制度」参照。	11
	教会教職者子女特別奨学金申請書・誓約書	該当者	35ページ「奨学金制度」参照。	12
	教会教職課程奨学金申請書	希望者	35ページ「奨学金制度」参照。神学科教会教職専攻3年次編入受験者のみ申請可能。	13
	ＯＤＡ（政府開発援助）被援助国出身学生対象奨学金・ノア奨学金申請書・誓約書	該当者	35ページ「奨学金制度」参照。11月末までに実施される入学者選抜または編入学者選抜への出願者のみ申請可能。	14
	在留カード及びパスポートのコピー	外国籍者	在留カードの両面のコピー。 パスポートは氏名の記載されたページのコピー。	自身で用意
	日本語能力を証明する証明書	該当者	日本語が母語でない者は要提出。 詳細は11ページ「日本語能力について」参照。	自身で用意

①出願書類は必ず黒のボールペンで記入すること。

②出願書類は巻末の大封筒(出願書類送付用)を使用し**簡易書留**で郵送または本学入試窓口へ持参すること。

③身体に障がいがあり、受験及び就学上特別の配慮を必要とする者は、必ず出願書類提出の前に教務課入試担当に問合せて下さい。
　また出願時には、健康状況票兼配慮の申請書(様式9)を提出すること。

個人情報の取り扱い

　出願書類等に記載された個人情報は、選抜の実施、合否発表、入学手続き、奨学金業務、統計・分析、入学後教育指導上必要とされる範囲、またこれらに付随する事項を行うために適正な範囲で利用し、以上の目的以外には利用しません。

全 寮 制

本学は全寮制を原則としています。神学の学びは、教場における営みだけでなく、生活全域に及ぶものです。本学では、教育寮での生活を通して「キリスト者の自由をもって共に生きる」ことを体得し、キリストの愛と義を常に判断の基準とできる福音的キリスト者を育成することをその教育の目的としています。

本学には、男子寮、女子寮、シオン寮、家族寮があります。入寮に関する詳細は合格後に本学から発送される書類を参照ください。

特別な理由がある場合に限り、入学時より通学が認められます(出願時に特別通学許可願い(様式10)の提出が必要)。また入学時40歳以上の方は、通学か入寮のどちらかを選択できます(出願書類の履歴書(様式2)に要記入)。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大等により、入寮に制限がかかる可能性もあります。その場合は合格者に個別に連絡します。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

本学キャンパスで行う試験の当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治癒していない場合、他の受験生や試験関係者等への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮願います。試験の切り替えや別日程入試への振り替えについては、各選抜要項を確認してください。

また今後、感染症拡大状況により行政機関から指示･要請が出た場合など、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断し、入試日程・選抜方法の変更等の措置を講ずることがあります。その際は、本学ウェブサイトにてお知らせしますので、随時確認するようにしてください。

なお出願開始後に何らかの変更が生じた場合は、当該志願者に対して電話やメール等で連絡することがありますので、出願後は随時、着信やメールを確認するようにしてください。また受験後に学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患していることが判明した場合は必ず本学まで連絡してください。

学 生 納 付 金

1年次入学者

	初年度納付額	入学手続時最少納付額
授　業　料	¥694,200	¥231,400
施　設　費	¥246,000	¥82,000
教育充実費	¥74,600	¥74,600
小 計（A）	¥1,014,800	¥388,000
寮費(独身寮)	¥263,100	¥87,700
寮室電気料金	¥12,000	¥12,000
食　　費	¥300,000	¥100,000
小 計（B）	¥575,100	¥199,700
総 計（A+B）	**¥1,589,900**	**¥587,700**

＜通学する場合＞

原則として全員入寮しますが、下記に該当する場合通学も可能です。
①40歳以上の方で、通学を選択した場合
②「特別通学許可願い」を出願時に提出し通学が認められた場合

通学の場合は、寮費、食費等は支払う必要ありませんので、授業料、施設費、教育充実費のみお支払いください。（小計(A)）

編入学者

【３年次編入】

	初年度納付額	入学手続時最少納付額
授　業　料	¥694,200	¥231,400
施　設　費	¥246,000	¥82,000
教育充実費	¥56,600	¥56,600
小 計（A）	¥996,800	¥370,000
寮費(独身寮)	¥263,100	¥87,700
寮室電気料金	¥12,000	¥12,000
食　　費	¥300,000	¥100,000
小 計（B）	¥575,100	¥199,700
総 計（A+B）	**¥1,571,900**	**¥569,700**

【２年次編入】

	初年度納付額	入学手続時最少納付額
授　業　料	¥694,200	¥231,400
施　設　費	¥246,000	¥82,000
教育充実費	¥65,600	¥65,600
小 計（A）	¥1,005,800	¥379,000
寮費(独身寮)	¥263,100	¥87,700
寮室電気料金	¥12,000	¥12,000
食　　費	¥300,000	¥100,000
小 計（B）	¥575,100	¥199,700
総 計（A+B）	**¥1,580,900**	**¥578,700**

＜家族寮間取り＞　　＜家族寮費/年＞

タイプA	間取り：1S,2DK,B,T　（44㎡）	¥600,000
タイプB	間取り：2DK,B,T　（39㎡）	¥541,200
タイプC	間取り：1S,1DK,B,T　（37㎡）	¥500,100
S:スタディールーム、DK:ダイニングキッチン、B:風呂、T:トイレ		

※家族寮入寮希望者は合格発表時にはどのタイプの部屋に入れるか未定のため、初年度納付額ではなく入学手続時最少納付額をお支払いください。入学手続時最少納付額は家族寮入寮者も独身寮入寮者と同額です。部屋タイプごとに8月・12月に別途家族寮費を徴収します。

※家族寮入寮後、退寮時に経年劣化以外の修繕が生じた場合のデポジット（預かり金）として20,000円を預けていただきます。（退寮時に清算します。）

［注意事項］

① 入学手続締切日までに初年度納付額または入学手続時最少納付額を納入してください。初年度納付額は、年3回（入学手続時･8月･12月）の分納が可能です。8月･12月についての詳細は別途通知します。

② English Intensive Study Abroad・グローバル・スタディーズ実習（選択科目、約1ヶ月～3ヶ月）は学納金とは別に研修費用がかかります。

③ 器楽等レッスンは学納金とは別に受講費用がかかります。

④ 学納金は年度ごとに改定する場合があります。また食費は物価変動に応じて年度の途中で改定する場合があります。

奨 学 金 制 度

＜2023 年度予定＞　内容は変更される可能性があります。

学内奨学金（給付）	金 額（年額）	人数	備　考
本学給付奨学金	300,000円 150,000円	5名 10名	2年次生以上(新入生除く)
共立元木奨学金	最大150,000円	該当者	東京基督教大学及び東京キリスト教学園各校前身校の女子卒業生または女子修了生の子女。入学後申請。
同窓生家族特別奨学金	100,000円	該当者	東京基督教大学及び東京キリスト教学園各校前身校の同窓生家族。出願時に申請書(様式11)を提出。
教会教職者子女特別奨学金	100,000円	該当者	教会教職者の子女。出願時に申請書(様式12)を提出。
教会教職課程奨学金 (3年次編入)	最大200,000円	該当者	入試成績が優秀で経済的必要のある者。対象は教会教職専攻3年次編入生。出願時に申請書(様式13)を提出。
教会教職課程奨学金 (4年次)	最大300,000円	該当者	次年度に大学院に進学する意思のある者で、前年度の成績が優秀で経済的必要のある者。４年次に申請。
ノア奨学金	300,000円	1名	本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な日本国籍以外の者。11月末までに実施される入学者選抜または編入学者選抜への出願者のみ申請可能。出願時に申請書(様式14)を提出。
ODA(政府開発援助)被援助国出身学生対象奨学金 ※ODAとはOfficial Development Assistanceの略	最大学納金全額	若干名	政府開発援助(ODA)被援助国の国籍を持つ学生で、本学の建学の精神と教育目的を重んじ、成績・人格ともに秀でた者で、経済的援助が不可欠な者。11月末までに実施される入学者選抜または編入学者選抜への出願者のみ申請可能。出願時に申請書(様式14)を提出。

＊複数の学内奨学金の申請資格がある場合、複数申請可。

学外奨学金（貸与）	金　額（月額）	人数	備　考
日本学生支援機構 第一種	20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円 の中から選択 ※私立自宅外の場合	該当者	貸与奨学金(無利息)、成績 評定平均3.5以上 最高月額の64,000円を希望する者は、家計支持者の年収が一定額以下である必要があります。 なお、日本学生支援機構の給付奨学金受給者は第一種奨学金の貸与月額は自動的に次のように減額されます。給付奨学金第1区分、第2区分は月額0円、第3区分は月額19,200円(私立自宅外の場合)に減額。
日本学生支援機構 第二種	20,000円～ 120,000円の うち1万円単位 で選択	該当者	貸与奨学金(有利子)、成績 平均以上

学外奨学金（給付）	金　額（月額）	人数	備　考
日本学生支援機構 給付型奨学金 （文部科学省 修学支援新制度）	第Ⅰ区分 75,800円＋ 授業料全額減免 第Ⅱ区分 50,600円＋ 授業料2/3減免 第Ⅲ区分 25,300円＋ 授業料1/3減免 ※月額は私立自宅外の場合 ※授業料減免は最大70万円まで	該当者	給付奨学金 家計基準(日本学生支援機構HPにあるシミュレーターで該当するかどうかおおよそ判定可能)と学力基準を満たしている者が対象。また下記大学入学時期に関する資格を満たしていること。 ・高等学校等を初めて卒業した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していない人。 ・編入学する前に在学していた学校を卒業又は修了等した後1年以内に本学に編入学又は転学する人。ただし、学士取得者は対象外。

授業料減免は文部科学省の修学支援新制度ですが、現在日本学生支援機構給付奨学金申請と同時申請となっています。

＊日本学生支援機構の奨学金は大学入学後に申し込みをする定期採用と大学入学前に申し込みできる予約採用の二種類があります。予約採用で申込希望の方は、卒業(卒業後 2 年以内)または在籍している高等学校又は専修学校(高等課程)にお問い合わせください。高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定に合格した人は、日本学生支援機構(0570-666-301)にお問い合わせください。

提携教育ローンのご案内

本学各種奨学金及び国や各自治体が提供している奨学金等を受けることのできない学生向けに、本学では提携教育ローンもご紹介しています。

1．提携教育ローンの特徴

（1）授業料、寮費等の学納金について簡単な審査で利用可能です。

（2）利用期間中は金利の変動がなく固定金利で利用できます。

（3）在学期間中は元金の支払いを据え置く「元金据置払い」を選択することもできます（留学生不可）。
その場合、**提携教育ローン利子補給奨学金(当該年度の据置期間の利息を本学が負担する制度)の申請が可能です。**なお、申請は年度ごとに必要で毎年審査があります。

（4）10 万円から 500 万円まで利用することが可能です（条件あり）。

（5）外国籍の方でも利用可能です（条件あり）。

（6）授業料等の学納金は、大学に直接入金されます。

2．支払い条件

（1）実質年利　3.8%

（2）支払回数　6 回払い～180 回払いまで

3．備考

（1）支払い回数については、審査結果により異なる場合があります。

（2）提携教育ローンの詳細については、合格者に別途資料を送付します。

4．お問い合わせ先

東京基督教大学　総務部 提携教育ローン担当　　0476-46-1131

出願書類

（様式１～15）

【受験票・志願票の記入例】

（銀行で切り離してください）

C 2023年度東京基督教大学受験票

受験番号 ※大学側で記入		男 ・ 女
氏　名	自分の名前	
入学区分	☑ 1年次入学　☐ 編入学	
編入学 志望専攻	☐ 2年次 ☐ 3年次　教会教職専攻 ☐ 3年次　グローバル・スタディーズ専攻 ☐ 3年次　ユース・スタディーズ専攻 ☐ 3年次　キリスト教福祉専攻 ☐ 3年次　神学教養専攻	

取扱銀行
3
出 納 印

(注) 1. 本学で受理し受験番号を記入した後に返送するので、試験日に持参すること。
2. 合格発表日まで大切に保管すること。

（切り離さないでください）

（振込み後本人が切り離してください）

D 2023年度東京基督教大学入学志願票

入学区分		☑ 1年次入学　☐ 編入学		
編入学 志望専攻		☐ 2年次 ☐ 3年次 グローバル・スタディーズ専攻 ☐ 3年次 キリスト教福祉専攻 ☐ 3年次 教会教職専攻 ☐ 3年次 ユース・スタディーズ専攻 ☐ 3年次 神学教養専攻		
入試区分	1年次入学	☑ 総合型選抜（☐第1回・☑第2回・☐第3回） ☐ 学校推薦型選抜（☐ 公募制・☐ 指定校制）　☐ 一般選抜 ☐ 総合型選抜(オンライン)（☐ 第1回・☐ 第2回・☐ 第3回）		
	編入学	☐ 総合型方式（☐ 第1回・☐ 第2回・☐ 第3回）　☐ 一般方式 ☐ 総合型オンライン方式（☐ 第1回・☐ 第2回・☐ 第3回）		
ふりがな 氏　名		ふりがな 自分の名前	国 籍 日本	性 別 男 ・ 女
現住所		〒 000-0000　TEL（000）0000- 0000 住所		

(注) 1. 氏名の文字は戸籍と同一にすること。(略字不可)
2. 入試区分、志望専攻等☐に✓チェックを入れる。

写真添付欄

①単身・脱帽
②正面上半身
③無背景
④裏面のりづけ
⑤撮影三ヶ月以内
(40mm×30mm)

取扱銀行
4
出 納 印

受験番号(大学側で記入)

様式1

◎取扱銀行へのお願い
①太線内を打電してください。
②出納印は1・2・3・4にもれなく正確に押印されB・C・D各票は依頼人にお返しください。

A

2023年度東京基督教大学入学検定料

電信扱 振込依頼書（取扱店保存）

勘定科目	

依頼日	年　月　日		振込指定	電信扱	手数料					
先方銀行	千葉興業銀行　千葉ニュータウン支店				金額	¥	3	5	0	0	0
受取人 預金種目	普通預金	口座番号	1273611		現金						
受取人 口座名	(ｶﾞｸ)ﾄｳｷｮｳｷﾘｽﾄｷｮｳｶﾞｸｴﾝ									
	(学) 東京キリスト教学園									
志願者 カタカナ	※		※							
志願者 氏名	※		※							
志願者 住所	※ 〒 電話									

取扱銀行 1 出納印

（注）※欄を記入

（銀行で切り離してください）

B

[2023年度東京基督教大学入学検定料]

振込金受領書（志願者保存）

依頼日	※　年　月　日
先方銀行	千葉興業銀行　千葉ニュータウン支店
受取人	学校法人 東京キリスト教学園
志願者氏名	※　様

取扱銀行 2 出納印

（注）※欄を記入

金額 35,000円

左記のとおり振込金として受領しました。

＿＿＿＿＿＿＿＿ 銀行

＿＿＿＿＿＿＿＿ 支店

（銀行で切り離してください）

（振込み後本人が切り離してください）

C

2023年度東京基督教大学受験票

受験番号 ※大学側で記入		男・女
氏名		
入学区分	□ 1年次入学　□ 編入学	
編入学志望専攻	□ 2年次 □ 3年次 教会教職専攻 □ 3年次 グローバル・スタディーズ専攻 □ 3年次 ユース・スタディーズ専攻 □ 3年次 キリスト教福祉専攻 □ 3年次 神学教養専攻	

取扱銀行 3 出納印

（注）1. 本学で受理し受験番号を記入した後に返送するので、試験日に持参すること。
2. 合格発表日まで大切に保管すること。

（切り離さないでください）

D

2023年度東京基督教大学入学志願票

入学区分	□ 1年次入学　□ 編入学		
編入学志望専攻	□ 2年次 □ 3年次 グローバル・スタディーズ専攻 □ 3年次 キリスト教福祉専攻 □ 3年次 教会教職専攻 □ 3年次 ユース・スタディーズ専攻 □ 3年次 神学教養専攻		
入試区分 1年次入学	□ 総合型選抜（□第1回・□ 第2回・□ 第3回） □ 学校推薦型選抜（□ 公募制・□ 指定校制）　□ 一般選抜 □ 総合型選抜(オンライン)（□ 第1回・□ 第2回・□ 第3回）		
入試区分 編入学	□ 総合型方式（□ 第1回・□ 第2回・□ 第3回）　□ 一般方式 □ 総合型オンライン方式（□ 第1回・□ 第2回・□ 第3回）		
ふりがな 氏名		国籍	性別
			男・女
現住所	〒　TEL（　）　－		

（注）1. 氏名の文字は戸籍と同一にすること。(略字不可)
2. 入試区分、志望専攻等□に✓チェックを入れる。

写真添付欄
①単身・脱帽
②正面上半身
③無背景
④裏面のりづけ
⑤撮影三ヶ月以内
(40mm×30mm)

取扱銀行 4 出納印

受験番号(大学側で記入)

様式２

※大学側で記入

受験番号

該当、必要箇所の□に ✓ を入れてください。

志望専攻	**※総合神学科では3年次進級時に専攻を決定します。１年次入学、２年次編入を受験の方も現時点で志望する専攻をチェックしてください。わからない方は未定をチェックしてください。3年次編入の方は必ずどれかにチェックしてください。**		
	□ 教会教職専攻 □ ユース・スタディーズ専攻 □ 神学教養専攻		□ グローバル・スタディーズ専攻 □ キリスト教福祉専攻 □ 未定　（３年次編入選択不可）
入試区分	１年次入学		□ 総合型選抜(　□ 第1回 ・ □ 第2回 ・ □ 第3回　) □ 学校推薦型選抜(公募型)　□ 学校推薦型選抜(指定校型)　□ 一般選抜 □ 総合型選抜（オンライン）　(　□ 第1回 ・ □ 第2回 ・ □ 第3回　)
	編入学	教会教職専攻 3年次編入	編入学者選抜[総合型方式](　□ 第1回 ・ □ 第2回 ・ □ 第3回　) 編入学者選抜[一般方式](　□ 一般方式　) 編入学者選抜[総合型オンライン方式](　□ 第1回 ・ □ 第2回 ・ □ 第3回　) ※ 受洗後1年経過していますか？　はい　・　いいえ　※どちらかに○をつけること。
		上記以外	＜希望編入年次＞　2年次　・　3年次　※どちらかに○をつけること。 編入学者選抜[総合型方式](　□ 第1回 ・ □ 第2回 ・ □ 第3回　) 編入学者選抜[一般方式](　□ 一般方式　) 編入学者選抜[総合型オンライン方式](　□ 第1回 ・ □ 第2回 ・ □ 第3回　)

写真添付欄

①単身・脱帽
②正面上半身
③無背景
④裏面のりづけ
⑤撮影三ヶ月以内
（40㎜×30㎜）

履　歴　書

年　月　日現在

ふりがな		性　別
氏　名		男　・　女
ローマ字※		
生年月日	西暦　年　月　日生　（満　歳）	

本学から郵送物が届く住所	〒　ふりがな		
E-mail		国　籍	
電話番号		携帯番号	
緊急連絡先	氏名：　（続柄：　） 住所：〒 電話番号：　E-mail：		

※ ローマ字欄　外国籍者はパスポートに記載された本名を記入。

(西暦)年	月	学歴(中学校卒業から記入、ﾁｬｰﾁｽｸｰﾙ・ﾎｰﾑｽｸｰﾙ・専門学校・予備校等を含む)及び職歴

※行数が足りない場合は、自身で用意した別紙に記載可。

所属教会	教団・単立　　教会			
	教会住所　ふりがな 〒			
	牧師名		教会(牧師) 電話番号	
	受洗年月日	年　　月　　日		
	幼児洗礼の場合は信仰告白日を記載してください。		年　　月　　日	

現在まで定期的に出席していたキリスト教会をすべて記入してください。

時　期 (〇年〇月～〇年〇月)	教団名	教会名	牧師名	所在する 都道府県名

本学の建学の精神と信仰基準を読み、その内容に同意いたします。
※本学の「建学の精神」と「信仰基準」は学生募集要項2、3ページに記載。

日付：　　年　　月　　日
氏名：　　印　　※印鑑がない場合はサインでも可。

【資格】　※取得した資格がない場合は「なし」と記入

資格名	取得年月日	取得級・スコア等（級やスコアがある場合）
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	

【入寮】
本学は全寮制で、寮生活も教育の一環です。（通学を希望する方は下記の<通学に関する事項>をご確認ください。）

1　婚約または結婚していますか？（「いいえ」の場合、２以下の質問は回答不要）　はい　・　いいえ

2　家族寮への入寮を希望しますか？（「いいえ」の場合、必ず下記の通学に関する事項を確認）はい　・　いいえ

3　家族寮への入寮を希望する方は、同居されるご家族について下記にご記入ください。

家族	続柄	氏　名	年齢	続柄	氏　名	年齢
	本人					

＜通学に関する事項＞
①40歳以上の方：通学を選択できます。【　通学希望　・　入寮希望　】※入寮希望の場合は上記の質問にお答えください。
②39歳以下で通学希望の場合は、出願時に「特別通学許可願い」(様式10)を提出し審査を受けてください。

様式３

自己紹介書

氏名：

東京基督教大学では広くこの世界でキリストに仕える献身者を求めています。あなたがこれまで教会や社会においてどのような活動や体験をしてきたのか、そしてそこでどのように成長してきたのかを記してください。また自身の長所と短所、将来の教会や社会における希望する奉仕分野について記してください。

①教会(hi-b.a.やキャンプ等の教会以外のキリスト教活動を含む)での活動や体験

活動・体験内容	
それらを通してどのように成長したか	

②社会(所属学校、課外活動、ボランティア、海外留学、アルバイト、仕事等)での活動や体験

活動・体験内容	
それらを通してどのように成長したか	

③何が自分の長所と短所だと思うか、記してください。

長所	
短所	

④将来の教会や社会における希望する奉仕分野を記してください。

氏名

志願理由と入学後の学びの目標

800字以内で記してください。

様式４

所属教会牧師等 推薦書

(1)いずれの項目についても、この用紙に書ききれない場合は、別紙を添付してください。
(2)推薦書は密封して志願者にお渡しください。
(3)所属教会牧師等が志願者の親族であっても本推薦書を記入していただいて問題ありません。

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京基督教大学はキリストへの献身を表明したキリスト者しか入学できない大学です。本学の考えるキリストへの献身とは、牧師や宣教師になることだけでなく、広くこの世界でキリストに仕える者としての献身を意味します。所属教会牧師等(教会で指導的立場にある方)におかれましては、志願者について、率直で正確な評価をお願いいたします。

１．どのくらい志願者のことを知っていますか。（数字を〇してください。）

良く知っている ←【　５　・　４　・　３　・　２　・　１　】→ あまりよく知らない

２．志願者はキリストを自身の個人的な主として受け入れ、信仰告白をしていますか。

【　はい　・　いいえ　】

３．志願者はその生き方においてどのように主を証ししているかご記入ください。

４．志願者の出席している教会での奉仕活動内容とそれらに対する評価をご記入ください。

５．志願者の信仰において極端な面がありますか。【 はい ・ いいえ 】※裏面の本学信仰基準を参照ください。

(極端な面がある場合(「はい」と答えた場合)、具体的に記してください)

６．志願者の長所と短所をご記入ください。

（長所）

（短所）

７．志願者をどの程度推薦しますか？　（ 大いに推薦する ４ ・ 推薦する ３ ・ あまり推薦しない ２ ・ 推薦しない １ ）

その理由を具体的にご記入ください。※紙面が足りない場合は別紙に記載ください。

８．寮生活及び集団生活への適応についての意見をご記入ください。※本学は原則全寮制です。

９．その他志願者について本学に知らせておきたいことがあればご記入ください。

西暦　　　　　年　　月　　日

東京基督教大学長　　殿

推薦者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　㊞

教団名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

教会名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　役職　牧師・他（　　　　　）

連絡先　〒

電話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　E-mail　　　　　　　　　　＠

東京基督教大学　信仰基準

東京基督教大学が基準とする信仰は、旧・新両約聖書に一貫して啓示され、古代公同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを目指す福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の９箇条に述べるとおりです。

１．66巻からなる聖書は、聖霊の完全な霊感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。したがって、聖書の記述には、誤りがありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとされたすべてのことを含み信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。
２．生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であられます。
３．神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。
４．人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。
５．わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であられます。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。
６．主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで主を信じる者はみな罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。
７．聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活を送る力を与えてキリストのかたちに似る者としてくださいます。
８．教会はそのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従ってすべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。
９．わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれの肉体をもってよみがえらされ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たにして、み国を父なる神におわたしになります。

様式５

キリスト者 推薦書

(1)いずれの項目についても、この用紙に書ききれない場合は、別紙を添付してください。
(2)推薦書は密封して志願者にお渡しください。
(3)この推薦書は志願者の３親等以内の親族は書くことができません。

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京基督教大学はキリストへの献身を表明したキリスト者しか入学できない大学です。本学の考えるキリストへの献身とは、牧師や宣教師になることだけでなく、広くこの世界でキリストに仕える者としての献身を意味します。推薦者におかれましては、志願者について率直で正確な評価をお願いいたします。

１．どのくらい志願者のことを知っていますか。（数字を○してください。）
良く知っている ←【 ５ ・ ４ ・ ３ ・ ２ ・ １ 】→ あまりよく知らない

２．志願者はその生き方においてどのように主を証ししているかご記入ください。

３．志願者の長所と短所をご記入ください。

（長所）

（短所）

４．志願者をどの程度推薦しますか？ （ ４（大いに推薦する） ・ ３（推薦する） ・ ２（あまり推薦しない） ・ １（推薦しない） ）
その理由を具体的にご記入ください。※紙面が足りない場合は別紙に記載ください。

５．寮生活及び集団生活への適応についての意見をご記入ください。※本学は原則全寮制です。

６．その他志願者について本学に知らせておきたいことがあればご記入ください。

西暦　　年　　月　　日
東京基督教大学長　　殿

推薦者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞　　職業＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

教団名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　教会名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先 〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　E-mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ @＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

様式6

事前課題（小論文）提出フォーム

事前課題（小論文）は全受験生提出必須の課題です。以下の課題についてワープロソフト等を使用して小論文を作成・印刷してください。事前課題（小論文）では「思考力・判断力・表現力」を評価し、学力評価の一つとして審査します。

（注意事項）
・必ず受験生自身が自分の力で作成してください。他者による指導も受けないでください。
・小論文の文字数をワープロソフト等で文字カウントし（スペースは文字数に含めません）、本フォームの文字数欄に記入してください。
・この用紙を印刷した事前課題（小論文）の表紙として添付し、クリップ留めしてください。（ホチキス留めはしないでください。）

＜事前課題（小論文）＞

「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」。これは、聖書が語る神と人の関係の「破れ」と、そこから生じる人の世界の「破れ」（痛み、矛盾、溝など）の回復と修復のために立つ人を育成する本学の教育の使命を表しています。この見地に立ち、以下の質問に対するあなたの考えをまとめて、1,800 字以上 2,200 字以内で記してください。

1. あなたの身近な所、社会、世界にはどのような「破れ」があるでしょう。そしてあなた自身が「重荷」（使命）を持つことは何でしょうか。またその理由は何でしょうか。

2. キリスト者が「破れ口」に立とうとする理由、そして模範はキリスト自身です。あなたはそれを自分のこととしてどのようにとらえ、またそのしもべとして必要な聖書的視点や姿勢、実際の手段と行動、協力関係はどのようなものと考えますか。

3. あなたが「破れ口に立つ」ために、本学での学びにどのようなことを期待しますか。

＜事前課題(小論文)の評価内容・視点＞

①問題の把握と論理的展開	20 点
②日本語表現（語彙、文体、表現）	20 点
③クリスチャンとしての視点と視野	15 点
④聖書と教理の正しい理解	15 点
⑤独自性と結論の明確性	20 点
⑥字数を満たし十分論じられているか	10 点

※受験番号は大学側で記入します。

受験番号	
氏　　名	
文 字 数	文字

※文字数は必ず 1,800 文字～2,200 字以内となるようにしてください。

様式７

健　康　診　断　証　明　書

※ 受験番号　No		判　定	検査不要・再検査・要精密・要問い合せ
ふりがな 氏　名 生年月日	男 女 年　月　日生	学　科	総合神学科

診　断　事　項

身　長 cm	体　重 kg	視力	左（　）　右（　）裸　眼 左（　）　右（　）ｺﾝﾀｸﾄ・眼鏡

エックス線検査

エックス線　（直接・間接）	
（撮影年月日）　（撮影号）	
所見	

身体障がい

区　分	障がいの有無
運　動	有　・　無
聴　覚　左	有　・　無
聴　覚　右	有　・　無
言　語	有　・　無
その他	有　・　無
具体的内容	

主な既往症と罹患時の年齢

肺結核	歳	小児まひ	歳
その他の結核疾病		てんかん	歳
（　）	歳	精神疾患	歳
気管支喘息	歳	高血圧	歳
アレルギー疾病		糖尿病	歳
（　）	歳	入院した病気	
食物・薬剤等へのアレルギー有無		（　）	歳
有（　）・無		急性感染症（麻疹・風疹など）	
心疾患	歳	（　）	歳
腎疾患	歳		
リウマチ	歳		

予防接種

ＢＣＧ あり（日付：　）なし	風疹 あり（日付：　）なし
ポリオ あり（日付：　）なし	ジフテリア あり（日付：　）なし
麻疹 あり（日付：　）なし	百日咳 あり（日付：　）なし
流行性耳下腺炎 あり（日付：　）なし	破傷風 あり（日付：　）なし
	三種混合（ＤＰＴ） あり（日付：　）なし

※記録のコピー添付でも良い。

主な現症

（入学後の健康管理上注意すべき疾病・障がいの有無とその内容）

常用薬

（有・無）　有の場合以下に記入

薬品名（　）

病　名（　）

寮生活ならびに集団生活上の注意事項　※本学は全寮制で、食堂で全学生が同じ食事をとります。

なし　・　あり　（　）

その他特記事項

診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。

年　月　日　住所（所在地）

医療機関名

医師の氏名　㊞

電話番号

ＦＡＸ番号

健康診断証明書　記入上の注意

１．※印欄は、大学側で記入。

２．予防接種の欄は該当予防接種のあり・なしを〇で囲み、ありの場合は日付を記入すること。母子手帳の該当欄等のコピー添付も可。

３．エックス線検査の欄については、（直接・間接）の該当事項を〇で囲み撮影年月日を記入すること。不明な場合は、不明を〇で囲む。

４．視力については上段に裸眼視力、下段に矯正視力を記入し、（コンタクト・眼鏡）の別は該当事項を〇で囲む。

５．身体障がいの欄の運動については、小児まひによるものを含むものとし、また、聴覚については難聴、言語についても障がいの有無を〇で囲み、具体的内容を記入すること。

６．主な既往症の欄は該当疾病を〇で囲み、罹患時の年齢を記入すること。例示以外の疾患で特に重要と認められるものについては、その他の箇所に疾患名および罹患時の年齢を記入すること。

７．その他特記事項の欄は、内部疾患、運動障がいおよび精神障がいで治療中、治療を要すると認められるもの、または特に注意を要すると認められるものを記入すること。

８．検査方法は、学校保健施行規則の定めるところによること。

様式８

年　　月　　日

東京基督教大学長　　殿

所在地
学校名　　印
学校長

学 校 長 推 薦 入 学 推 薦 書

下記の生徒を貴学神学部推薦入学適格者として責任をもって推薦いたします。

ふりがな 氏名 年　　月　　日生	男・女	履修課程　　科 年　　月　　日　卒業 (見込)	学業成績 評定平均値

「知識・技能」に関する評価	
「思考力・判断力・表現力」に関する評価	
「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価	
生徒の努力を要する点や配慮を要する点等	
その他（本学に伝えておきたい事等）	

記載責任者職名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

様式９

健康状況票兼配慮の申請書

身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能の障がい、いずれかの障がいをお持ちの方は、この用紙に必要事項を記入し、提出してください。本書は厳重に保管し、受験・修学・生活上の配慮に関する事以外に使用することはありません。障がいのない方は提出不要です。

提出日（西暦）　　年　　月　　日

氏名		男 女	生年 月日	（西暦）　　年　　月　　日 （満　　歳）
入学希望	年次　　総合神学科 専攻		E-mail	
電話			FAX	

使用補助具	手動車いす ・ 電動車いす ・ 白杖 ・ 補聴器 ・ その他（　　）	
障がいの種別	視覚障がい	盲 ・ 弱視
	聴覚・言語障がい	聾 ・ 難聴 ・ 言語障がいのみ
	肢体不自由	上肢機能障がい ・ 下肢機能障がい ・ 上下肢機能障がい 他の機能障がい （　　）
	病弱・虚弱	内部障がい ・ 他の慢性疾患（　　）
	発達障がい	学習障がい（LD） ・ 注意欠陥/多動性障がい（ADHD） ・ 自閉症/アスペルガー症候群（ASD）
	精神障がい	統合失調症 ・ 気分障がい（うつ病等） ・ 神経症性障がい（強迫性障がい・パニック障がい等） ・ 摂食障がい ・ 睡眠障がい ・ 他の精神障がい （　　）

手帳の有無	有 ・ 無	手帳の種類	身体障がい者手帳 精神障がい者保健福祉手帳 療養手帳	種	級

医師からの診断の有無	有 ・ 無
受験に関する配慮を希望する	はい ・ いいえ
授業に関する配慮を希望する	はい ・ いいえ
日常生活に関する配慮を希望する	はい ・ いいえ

※ **本書には、手帳または診断書のコピーを添付して提出してください。**

※ 受験上の配慮を希望する方には、入試担当者からご連絡させていただきます。入学後の支援を希望される方には、障がい学生修学支援委員会より入学手続き完了後にご連絡させていただきます。

※ ご不明な点がある場合は、入試担当者までご連絡ください。

（Tel:0476-46-1131 / Fax:0476-46-1405 / E-mail:nyushika@tci.ac.jp）

様式９

希望する相談内容

1．受験に関わる項目

☐　時間延長

☐　別室受験

☐　座席位置の指定（窓側、トイレに近接）

☐　用具の使用許可（車椅子、松葉づえ、照明用具、拡大鏡、補聴器）

☐　その他の相談

（　　）

2．授業支援に関わる項目

☐　講義での配慮（情報保障、教室の配慮等）に関する相談

☐　出席に関する配慮（遅刻、欠席、途中退席）に関する相談

☐　学習指導（補習、レポート作成、定期試験）に関する相談

☐　履修指導（優先的な登録、履修の制限等）に関する相談

☐　課外活動（実習、サークル活動等）に関する相談

☐　その他の相談

（　　）

3．生活支援に関わる項目

☐　居場所（占有スペース、仲間づくり等）に関する相談

☐　自己管理（スケジュール管理等）に関する相談

☐　対人関係（対人スキル、対人トラブル対応等）に関する相談

☐　日常生活（食事、入浴、睡眠等）に関する相談

☐　休憩室の確保等に関する相談

☐　医療機関との連携

☐　医療機器、薬剤の保管等に関する相談

☐　進路・就職に関する相談

☐　その他の相談

（　　）

その他・備考欄

（　　）

様式１０

特別通学許可願い

本学は全寮制を原則としています。神学の学びは、教場における営みだけでなく、生活全域に及ぶものです。本学では、教育寮での生活を通して「キリスト者の自由をもって共に生きる」ことを体得し、キリストの愛と義を常に判断の基準とできる福音的キリスト者を育成することをその教育の目的としています。

本学の寮教育の主旨をご理解いただいた上で、やむを得ない事由により通学の必要のある場合は、下記に必要事項を記入し、出願時に提出してください。

（入学時 40 歳以上で通学希望の方は本様式を提出する必要はありません。履歴書（様式 2）の「通学希望」に〇してください。）

＊健康上の理由の場合は、医師による診断書を添付してください。
＊本書面をもって自動的に許可されることはありません。

年　　月　　日

東京基督教大学長　殿

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
※受験番号は本学で記入します。

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）

保証人氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

注意：それぞれ本人が署名，捺印してください。

通学希望理由

※教授会審議結果（大学側記入欄）	
許可　・　不許可	年　　月　　日
（備考）	

様式１１

同窓生家族特別奨学金申請書・誓約書

東京基督教大学長　殿

私は、本奨学金を申請するにあたり、貴学の建学の精神に則り、学則を厳守し、学生の本分を全うし学業に専念することを誓約いたします。

年　　月　　日

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※受験番号は本学で記入します。

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

①在学生または同窓生について

Ⅰ　現在、在学している学生　（受験生の血族１親等・２親等または受験生の配偶者）

Ⅱ　卒業生　（受験生の血族１親等・２親等または受験生の配偶者）

※Ⅰ・Ⅱいずれかに○

学校名 氏　名 住　所	（在学生の場合） 学部・修士　　年次 博士・専攻科
卒業年月日　　年　　月　　日	

②　志願者について

志望学科・年次　　総合神学科　　１年次　　２年次　　３年次 ※該当箇所に○つける 氏　名 住　所 ①との関係（　　）

※　①及び②の該当者に確認の連絡をとる場合があります。

（以下記入しない）

上記学生は①の在籍・卒業学生と親族関係にあることを認め、本奨学金を支給することを決定する。

年　　月　　日　東京基督教大学奨学金委員長　　印

様式１２

東京基督教大学長　殿

教会教職者子女特別奨学金申請書・誓約書

私は、本奨学金を申請するにあたり、貴学の建学の精神に則り、学則を厳守し、学生の本分を全うし学業に専念することを誓約いたします。

年　　月　　日

受験番号

※受験番号は本学で記入します。

氏名　　印

教会教職者（親権者）情報

氏　　名		申請者との続柄	
所属教団･教会			
派遣元団体			
勤務(派遣)先住所			

※　教会教職者とわかる資料を添付してください。（例：週報、教会のホームページ、ニュースレターなど）

所属教会牧師の推薦

※　上記奨学金希望者の信仰および教会生活、卒業後のビジョンなどについてご記入ください。

教団名　　教会名

記入日　　年　　月　　日　　牧師名　　㊞

様式１３

教会教職課程奨学金申請書・誓約書

私は、貴学の建学の精神と学則に従い、本課程の勉学および信仰と人格の陶冶のため最善を尽すことを誓い、教会教職課程奨学金を申請いたします。

年　　月　　日

東京基督教大学長　殿

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※受験番号は本学で記入します。

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

申請事由

※　現在の経済状況、卒業後のビジョンなどについてご記入ください。

【注意事項】

・本申請書には必ず学費支弁者(主に学費を支払う方)の所得証明書(源泉徴収票、確定申告書の写し、役所発行の所得証明書のいずれか)を添付すること。留学生で提出の難しい方はご相談下さい。

ODA(政府開発援助)被援助国出身学生対象奨学金・ノア奨学金申請書・誓約書　様式14

提出日：　　年　　月　　日

表面，裏面の必要事項をすべて記入し，提出してください。

受験番号	※大学で記入します。	生年月日	年　月　日
フリガナ 氏　名	㊞	国籍	
		在留資格	
		Email	

※　申請者は，　☐ 親などの被扶養者　　☐ 世帯の主たる生計者　　である。（☐に✔すること）

学生募集要項35ページで【対象者】を確認の上，申請を希望する奨学金を〇で囲んでください。

1．ＯＤＡ（政府開発援助）被援助国出身学生対象奨学金　2．ノア奨学金

貴学の建学の精神と学則に従って，学生の本分を尽くし，学業に専念し信仰と人格の陶冶のために最善を尽くすことを誓い，奨学金を申請いたします。家族・経済状況の調査書に記入した内容は真実です。

本人署名

申請理由　＊具体的に記入してください。

学費等支弁者名

主たる生計者，学費・生活費を支払う方の氏名をご記入ください。

氏名

■提出可能な所得を証明する書類　（☑した書類を添付）

☐　源泉徴収票　　☐　確定申告書（コピー可）　☐　所得証明書　　☐　その他（　　）

家族・経済状況に関する調査

1．家族構成ほか

		続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	年収（税込）
生計を一にする家族及び所得	就学者以外	父					
		母					

		続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別
生計を一にする家族及び所得	就学者						自宅　自宅外
							自宅　自宅外
							自宅　自宅外
							自宅　自宅外

家族・経済状況に関する調査

２．経済状況

収入	前年度	入学年度　見込み
	年額	年額
家族等（本国からの仕送り含む）	円	円
教団・教会等	円	円
奨学金（ 貸与 ・ 給付 ）	円	円
アルバイト	円	円
	円	円
	円	円
	円	円
	円	円
	円	円
合計		円

支出	前年度	入学年度　見込み
	年額	年額
家賃・住宅ローン	円	円
光熱費	円	円
食費	円	円
学費	円	円
	円	円
	円	円
	円	円
合計		円
収支差額		円

本人の預貯金等	円

■資産

１）住まい

☐　借家

☐　持ち家

・購入年：　円

・購入金額：　円

・現在の価値：　円

・ローン残額：　円

２）家業

☐　なし

☐　あり（以下も要回答）

・創業年：　年

・業種：

・事業価値：　円

・負債額：　円

・従業員数：　人

３）家族の資産（申請者を含む）

項目	金額
土地・建物	円
貯蓄	円
株式・債権	円
借入	円
他者への貸し金	円
貴金属・芸術品等	円
その他	円
車の所有	☐ あり　☐ なし

３．学納金の支払い計画（学納金に対する援助見込み）

項目	初年次	２年目	３年目	４年目
学生本人の収入				
学生本人の貯金				
家族の収入				
家族の資産				
親戚・友人からの支援				
他団体からの奨学金等				
団体名（				
その他（				

【奨学金申請に関する個人情報の取り扱いについて】
本学は，奨学金申請者から取得した個人に関する情報を，奨学金受給者の選考の目的で利用し，それ以外の目的に利用することは一切ありません。また，個人情報の第三者提供は行いません。個人情報の紛失，滅失またはき損，漏洩等の防止その他個人情報の安全を確保するため，適切な安全管理措置を講ずるよう努めます。

様式１５

個別入学資格審査申請書

年　　月　　日

東京基督教大学長　殿

氏 名　　印

私は、＿＿＿＿年度東京基督教大学入学試験を受験したいので、必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。

西暦　　年　　月　　日現在

申請者氏名	ふりがな		
生年月日	年　　月　　日　（満　　歳）	性別	男・女
現住所　〒 電話番号　　－　　－　　携帯電話　　－　　－ メールアドレス：			
受験希望入試	☐ 総合型選抜（　第１回　・　第２回　・　第３回　） ☐ 一般選抜 ☐ 総合型選抜（オンライン）（　第１回　・　第２回　・　第３回　）		

履　歴

学習歴（各種の学校などでの在学状況等）、職歴、資格等を記入。
中学校卒業から順を追って詳しく記入してください。

西暦　　年　　月	中学校卒業

資格・免許・検定等

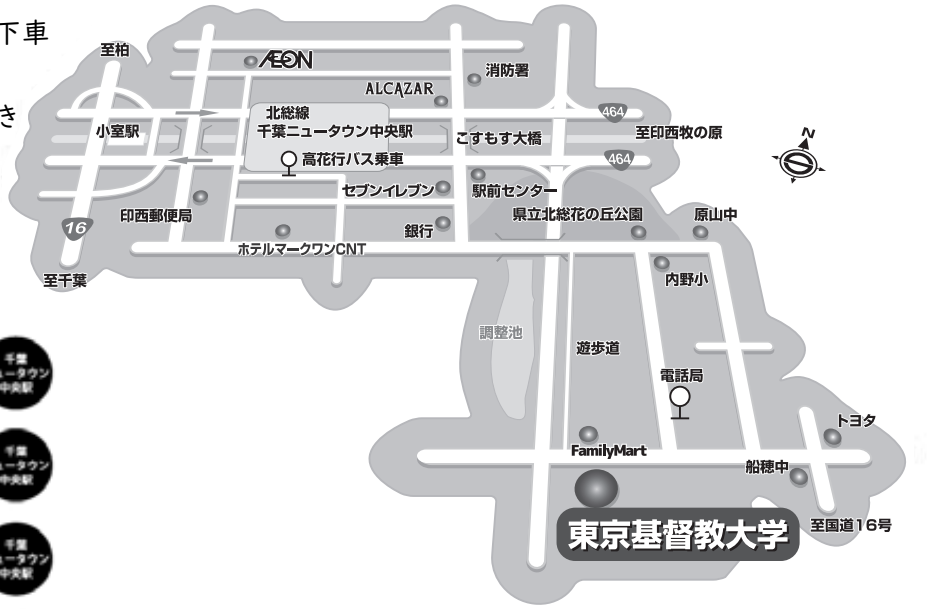
西暦　　年　　月	

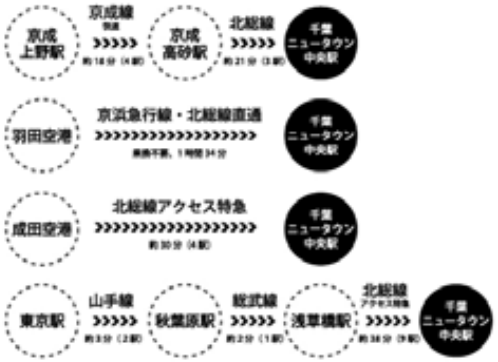
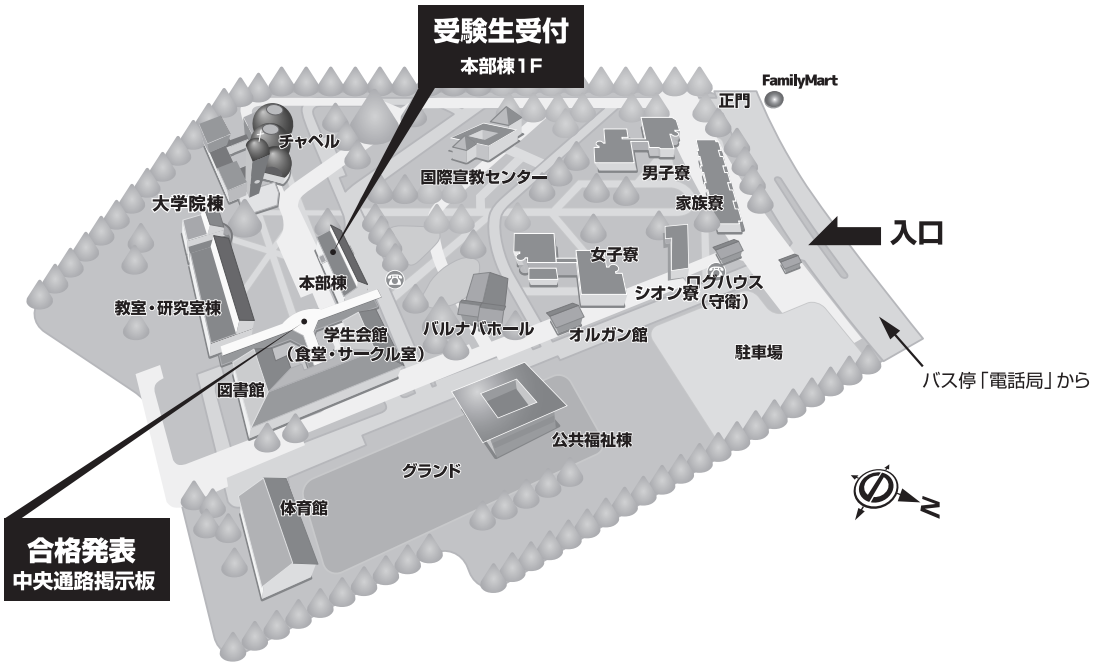
本申請書には外国人学校、チャーチスクール、ホームスクール等の各学校における学習歴または社会における実務経験等を証明できる書類を添付してください。（成績証明書、卒業(見込み)証明書、勤務会社による実務経験証明書など）

学習歴等を確認できる書類を添付できない場合は、中学卒業後、あなたがこれまで何をどのように学んできたか下記に詳しく記述してください。

キャンパスまでの交通のご案内

北総線
「千葉ニュータウン中央駅」下車
■南口バス乗り場
　ちばレインボーバス高花行き
　「電話局」下車徒歩７分
■駅から徒歩２５分





キャンパス（入学試験会場）のご案内